

TOYOTA *MARINE* Ocean Style

Jan 2016 Vol.6

Proposed
the Play of Ocean





※写真は撮影用小物、オプションパーツ等を含む特別仕様艇です。



さらに深化した美しさ。さらに進化した快適性。

PONAM-35swは、従来のドライブアシストにバーチャルアンカーシステムを追加し、トヨタマリン独自の操船支援システムをさらに充実させています。インテリアには木目調デザインを採用するなど、すべてにこだわり抜きました。あなたを待っているのは、さらなる上質な「海の喜び」です。

THE PREMIUM OF PREMIUMS

35
SW
Premium Cruiser
PONAM-35sw



Proposed the Play of Ocean

TOYOTA MARINE
Ocean Style

Jan 2016 Vol.6

CONTENTS

- 4 SPECIAL TALK
トヨタ自動車株式会社 レーシングドライバー、
代表取締役社長 自動車評論家
豊田章男×木下隆之
- 10 グルメクルージング 境が浜
「何もしない贅沢」
その意味を初めて知った日
- 16 サイトシーイングクルージング 松島
島々と海が織りなす絶景を巡る
日本三景「松島」クルージング
- 22 ハウツー トローリング
ポーナムで
トローリングデビューのススメ
- 28 ドレスアップ ポーナム31×トマオーニング
- 32 アンチ・ローリング・ジャイロ ポーナム35
- 36 レーシングドライバー、自動車評論家
佐藤久実さん「海の世界」へ挑戦
- 40 EVENT REPORT
英虞湾サンセットクルージング
- 44 マリーナ探訪 Vol.7
「葉山マリーナ」
- 46 ポーナムラインナップインフォメーション
- 48 トヨタ認定中古艇「CUB」
- 50 ミッドランドスクエア シネマ
映画インフォメーション



海に出ている 時間だけは ひとりの人間 “豊田章男”に 戻れる

束の間の休息で訪れた海。
そこで豊田社長自らマリンレジャーを楽しんだ。
クルージングで見つけた美しい景色、
水上バイクで味わった波と触れ合う臨場感、
どちらも海に出ないと体験できない。
こうした時間を過ごす中で社長が感じた事とは。
レーシングドライバー木下氏との対談で語られたのは
トヨタの描くマリン事業の未来像、
そして“Fun to Marine”への熱い思いだった。



SPECIAL TALK

トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長

レーシングドライバー、自動車評論家
豊田章男 × 木下隆之

FUN TO MARINE

マリレジャーとポーナムの魅力とは

木下 (敬称略) 今日一日、ポーナムや水上バイクに乗ったり、浜辺でバーベキューをしたりとマリレジャーを存分に楽しめたのではないのでしょうか？

豊田 (敬称略) 本当に楽しかったです。マリレジャーの魅力は、一旦海に出てしまえば、普段の会社の立場を忘れ、一瞬にして人間“豊田章男”に戻れるよう後押ししてくれるところだと思いました。

そして、人間としての“豊田章男”が肩書きや社会的責任云々より、自然の中で生かされている一人の人間である事を実感し、自然との共生の重要性も教えてもらいました。マリレジャーは一瞬にして夢中になれる、その感覚が素晴らしいですね。



気持ち良さそうにポーナムを操船する豊田社長。既に海の魅力を十分に感じているようだ。

木下 改めて、ポーナムの魅力をお伺いします。

豊田 トヨタ自動車が進めるポート“ポーナム”は自動車の“Fun to drive”を海上で実現しており、初心者からベテランまで幅広いお客様に直ぐに受け入れていただける良さを持っています。

木下 トヨタの車が、単なる移動手段ではなく、走る喜びを追求するように、マリにも同じスピリットを注がれているのですね。

豊田 マリン事業のスタッフは情熱を持って船造りに取り組んでくれています。自動車ビジネスと比較するとマリビジネスは数値的には小さいかもしれませんが、船造りに対する情熱では誰にも負けないという気概を感じます。こういうスタッフがいるからこそ、乗っていて楽しい船造り“Fun to marine”を可能にしていると思います。

木下 海外のマリン文化と比較して日本のマリン文化をどのように思われますか？

豊田 海外でのマリレジャーは日常生活に溶け込んでいると思います。日本も四方を海に囲まれているのですから、今後もっとマリンの文化が身近な存在になって欲しいですね。もちろん、漁業など海を生活の糧にされる人が多くいらっしゃいます。だからこそ、マリレジャーを楽しめる人々がこうした人々とも上手く融合して日本独自の味が出てくると良いなと思います。

木下 確かにヨーロッパなどでは、本来非日常のマリレジャーが日常に上手く溶け込んでいますね。そういう文化をこの瀬戸内海では感じられますよね。

豊田 そうですね。私も、マリに携わる人から船を使った遊び方だけでなく、生活も教わりました。例えば、同じレストランに陸から行く場合と海から行く場合では、表情が全然違います。極端に言うならば、同じ物を食べても、ここまで味に差がつくのかと思えるような雰囲気の違いを感じます。



水上バイクを直ぐに乗りこなしてしまった豊田社長。改めて乗り物好き一面と操作センスの良さが感じられた。

自動車会社が造る ボートの可能性

木下 自動車会社が造るボートというのは我々から見ても魅力的です。会社としても強みとして意識されているのでしょうか？

豊田 意識しないと云ったら嘘になります。逆にお客様にトヨタ自動車造るボートだからこそ安心・安全、乗っていて楽しいと思ってもらえるように努力していきたいです。車作りでは安全で、環境に優しく、ワクワクドキドキする事にこだわっています。

中でも環境面においては、1997年にハイブリッドカーのプリウスを発売し、2014年に水素で作った電気走るMIRAIを投入しました。そのため、将来的にはハイブリッドや水素といった動力源の可能性はトヨタが造るボートだからこそあるのではないかと思います。

木下 マリンレジャーは、大自然の中で楽しむものなので、環境にはより一層神経質にならねばならないと思います。

豊田 私のような海の素人に対して、色々な方がサポートし、海との語り方、接し方を教えてくださいました。その中で改めて自然との共生がマリンに関しては車社会よりも重要だと実感しました。マリンに長年関わっていらっしゃる方々がこれからマリンの世界に飛び込んで来る方々に自信を持って海の楽しみ方を伝えて欲しいと思います。

木下 最後に読者に向けて熱いメッセージをお願いします。

豊田 トヨタ自動車は1997年からマリン事業をやっています。お陰さまでポーナム31はポーナム35に引き続きポート・オブ・ザ・イヤーをいただく事ができました。これも長年に渡りトヨタが提供しようとしている“Fun to marine”をサポートいただいている皆様のご尽力の賜物だと感謝しています。

これからもトヨタマリンはどんどん皆様の笑顔、海の女神に優しく包まれるようなマリンライフを提案しつつ、素敵なボートも出していきたくと思っています。是非とも応援いただき、これからのトヨタのマリン事業にご期待いただきつつ、ご注目いただきたいと思います。

AKIO
TOYODA
X
TAKAYUKI
KINOSHITA



トヨタが持つボート造りへの熱い思いと、今後の展望について語る豊田社長。時より笑顔を変えて話す表情からはトヨタがいかに強い思いを持ってボート造りに取り組んでいるかが、しっかりと伝わってきた。



1.豊田社長自ら大胆なハンドル捌きでポーナムを自在に操縦。2.仲間達と浜辺でバーベキューを楽しむ豊田社長。夏はこれが最高だ。3.サンセットクルーズ出発のセレモニー。刻一刻と変化する空と海の色彩を眺めながらグラスを傾けるのは至福のひとつだ。4.夕日に照らされた穏やかな海を見つめる豊田社長。その瞳の先には何が映っているのだろうか。

PROFILE

レーシングドライバー、自動車評論家

木下隆之

TAKAYUKI KINOSHITA

レーシングドライバーとしてはもちろん自動車評論家としても活躍。全日本選手権をはじめ多数のレースで優勝。スーパー耐久では最多勝記録を更新中。ニルブルクリンク24時間には日本人最多出場を誇り、ベストリザルト記録保持者でもある。また、作家やエッセイストとしての活動にも力を入れており、ヒューマニズム溢れる独自の文体で構成されるコラムや著書は国内で高い評価を受けている。日本カー・オブ・ザ・イヤー選考委員や日本ポート・オブ・ザ・イヤー選考委員を務めるなど幅広く活躍中。





ENJOY GOURMET

「何もしない贅沢」 その意味を初めて知った日

高台にあるそこから見渡すのは視界一杯に広がる瀬戸内海と点在する島々。美しく豊かな自然に包まれたこの空間は、訪れた人々にベラピスタ(美しい眺め)を楽しませてくれる特別な場所。そこでは何もなくて良い。むしろ何もしない方が良い。ただそこにいるだけ。何もしない贅沢を味わう至福のひとつに、瀬戸内海の新鮮な食材がそっと並べられる。そんな非日常を目指しポーナムは進む。特別な休日はいつも海から始まる。今日は忙しい喧噪の日々を少しだけ忘れ、日常の向こう側へと行ってみよう。



旅の始まりはいつもポーナムとともに

今回のクルージングにはポーナム31とポーナム35を用意し、国内屈指の高級リゾートホテル「ベラピスタ スパ& マリーナ尾道」を目指す。二艇ともにゆったりと寛げるキャビンとフライブリッジを兼ね揃え、ラグジュアリーで快適なクルージングをもたらしてくれる。ポーナムでクルージングを楽しむ。それは、車では味わう事ができない目線から特別な空間が広がっていく。車から見える景色の始まりはいつも見慣れた木々や地面。しかし、ポーナムから見える景色は全てが違っている。自分の周りは空と海。そこから、360度見渡せる景色を遮る物はなにもない。最高の開放感を味わう事ができるのだ。そして、穏やかな瀬戸内の水面を走り始めると、次なる演出は心地良い風! ポーナムの加速とともに全身で潮風を受ける。まさに、クルージングの醍醐味とはこの事だろう。

瀬戸内海の変化に富んだ景観は人気のクルージングエ

リア。ひとしきり楽しんでから、いよいよ停泊場所となる境ガ浜マリーナに入港する。トップ水準の設備を有し、ピジターでも安心してポートを停泊できるマリーナだ。ホテルへは送迎車で五分程で到着。海を見渡せる高台に悠然と構えるベラピスタが姿を現した。



CRUISING COURSE

ベラビスタを 目で楽しむ

ホテルのエントランスに足を踏み入れたとたん、吸い寄せられるように向かう先は開放的な景色が楽しめるデッキスペース。「ザ・デッキ」と呼ばれるこのエリアはベラビスタの意味をストレートに我々に伝えてくれる。どこまでも続く青い空、そして眼下には瀬戸内海の景観が広がる。デッキ中央には縦長の水盤があり、それがまるで海へと続く一本道のように見える。空、海、水盤の全てが同じような色に見えて、一瞬にして眼と心を奪われる。ザ・デッキから館内に戻ると今度は「ザ・ロビー」が我々を迎え入れてくれる。テラス風ラウンジをイメージした親しみやすい空間だ。ここには瀬戸内海だけでなく世界の海にちなんだ本が多数集められており、海好き、読書好きなら思わず読みふけてしまいそうだ。ここで先程の興奮を少しだけ冷まし、ゆっくりと気持ちを落ち着かせるのも良いだろう。

客室は全室オーシャンビュー

「テラススイート」と呼ばれる部屋の扉を開けると、ナチュラルカラーで統一された優しく落ち着いた色が視界を埋める。部屋の面積は百平米あり、贅沢な広さを満喫できる。また、ベラビスタでは地産地消をコンセプトに「キロメートル・ゼロ」をキーワードとしてベラビスタクオリティを確立しており、テディベアやソファークッションなどのアメニティには地元の名産「カイハラデニム」が使用されている。

尾道温泉で体を芯から温める

疲れた体を癒すもの、それはやはり温泉だろう。露天風呂から見渡す風景は時間の経過とともにその表情を変化させていく。そこに四季によって色合いの異なる島々が見事に調和し、景色全体を美しく形成していく。そんな自然に自分を融け込ませながら温泉に浸かる。まさに至福のひとつだ。



8.広々としたソファとカイハラデニムのクッション。
9.全室オーシャンビュー。境が浜マリナーも一望できる。
10.空と海が見渡せる露天風呂。まるで海に手が届いてしまいそうな不思議な景色だ。湯船に浸かりながら外を向くと、視線の先には瀬戸内海が広がる。



三つの魅力的な レストラン

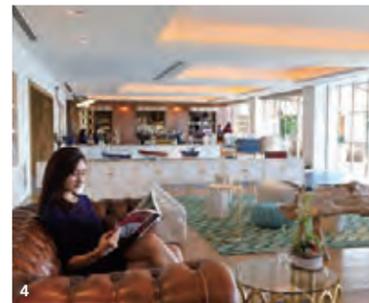
ベラビスタにあるレストランは全部で三つ。2015年7月にオープンしたばかりで、世界の料理人達が腕を振るうメインダイニング エレテギア。日本庭園を眺めながら旬の食材を使った和会席が楽しめる Japanese Dining SOBO。瀬戸内海で採れたての海の幸を中心に新鮮な素材を存分に堪能出来る脂 双忘。店の雰囲気、洗練された料理とサービス、それを楽しむためのロケーションや演出、いずれもゲストの心を十二分に満たす事ができるだろう。

メインダイニング エレテギア

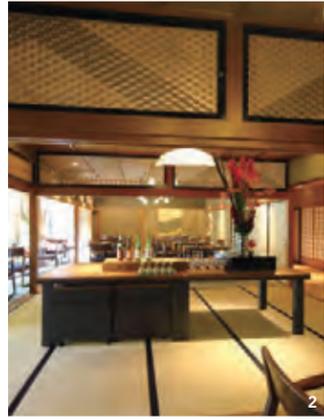
Restaurant >> 01

まず、最初にお薦めしたいのが、メインダイニング エレテギアだ。ここでは美食で有名なスペインのバスク地方を中心に修行したシェフがキロメートル・ゼロをベースに自然豊かな環境で採れた新鮮な食材を繊細に、そして時には大胆な手法で調理してくれる。シェフの想いが凝縮された料理は一口味わうだけで、口いっぱい食材の旨味が広がる。ディナーコースは日によってメニューが変わり、季節ごとにベストな素材を組み合わせた拘りの料理を楽しめる。今回食べた熟成牛と仔羊のアサードは肉本来の濃厚な旨味と絶妙な味付けが見事にマッチした一品だった。また、エレテギアでは三つのエリアから一箇所をチョイスして食事を楽しむ事ができる。瀬戸内海とプールを一望しながら食事ができるダイニング、カウンターで調理風景を眺めつつ、スタッフと会話ができるキッチン、プール下があり、エキゾチックな雰囲気が楽しめるMOZAIC (モザイク) が用意されている。中でもお薦めはキッチンエリアで、ここでは自分がまるで厨房の中にいるかのような、心地よい錯覚を体験しながら食事ができる。一度と言わず二度、三度と訪れてみたくなるようなそんな贅沢なレストランになっているのだ。

1.空と海と水盤が見事に調和したザ・デッキからの眺め。眼下には見飽きる事のない絶景が広がる。 2.藤(ラタン)の大型ソファからプライベート感覚で、海や町を見渡す事ができる。 3.プールサイドを散歩。ホテルでも水面を近くで見ているせいか、海の景色がより身近に感じられる。 4.ザ・ロビーでは椅子、テーブル、照明のどれもひとつずつ違っており、それぞれのエリアが個性的なデザインで仕上げられている。 5.様々な海の本が集まっているのもザ・ロビーの特徴。本格的なエスプレッソとともに楽しみたい。 6.施設内にはチャペルもあり、2本の階段がスパイラル状にチャペル全体を覆う独創的な造りで、見る者の目だけでなく心まで惹きつける。 7.夕暮れのザ・デッキ。空のグラデーションが水盤に映り、幻想的な雰囲気を醸し出す。水盤の両サイドでは焚き火をソファが囲むサンクンラウンジが寛ぎのひとつときを与えてくれる。



11.キッチン席では厨房の臨場感に包まれながら食事を楽しめる。 12.国際色豊かなシェフが、それぞれの技を惜みなく披露してくれる。 13.アサードとは、スペイン語で「焼かれたもの」を意味する。一口食べると凝縮されていた肉本来の旨味が一気に口の中に広がっていく。 14.真っ白な皿の上で地元の新鮮な食材が花を咲かせている。 15.プール下にモザイクタイルに囲まれた異空間が広がり、プライベート感を楽しめる。



1.日本庭園を眺めながら、優雅な気分で会席料理を味わえる。2.落ち着いた和風の空間で、テーブル席で食事を楽しめる。3.器、素材、盛り付け、色彩が見事に調和した、芸術的な逸品だ。4.食材はどれも「今が旬」のものばかり。この時期ならどんなものが出てくるのか、そんな予想をしながら料理を待つのも楽しいだろう。5.一品ずつ丁寧に盛り付けられており、まずは料理の姿・形や色使いを目で楽しんでもらってから口に運んで欲しい。

Japanese Dining SOBO

Restaurant >> 02

続いて紹介するのは Japanese Dining SOBO。こちらでは手入れの行き届いた日本庭園を眺めながら、レストランに漂う格式高い雰囲気を感じてみて欲しい。席に座り周囲を見渡せば、まるで料亭にいるかのような、そんな特別な気分にも浸れる事だろう。料理に関しては、瀬戸内海の自然の恵みをふんだんに活かした和会席がおすすめ。一品ごとに丁寧に仕上げられており、職人の高い腕前が随所に散りばめられている。そんな料理を口にする前にはまず目で楽しんで欲しい。完成された料理は季節感に溢れ、今がまさに「旬」と言える食材がテーブルを彩る。食事の際、一品ずつ食材を確かめながら箸を進めて欲しい。すると旬の素材ひとつひとつにどれだけ手がかけられているのかわかって頂けると思う。

鮓 双忘

Restaurant >> 03

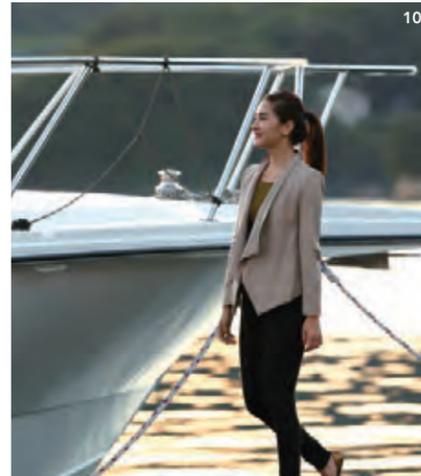
最後に紹介するのは、江戸前と瀬戸内らしさが見事に調和した鮓 双忘。こちらは2015年に銀座の名店「魚治はら田」の監修を受け誕生したお店で、カウンター席にて一日六名限定（要予約）のプレミアムな時間を過ごせる。カウンター越しに広がる瀬戸内海の絶景が、食事の気分を一段と高めてくれそう。ここでのおすすめはもちろん大将が真心込めて握る「おまかせ」だ。瀬戸内海で採れた新鮮な素材を大将が厳選して握るため、味はどれを取っても新鮮そのもの。一貫ずつ丁寧に握られた渾身の寿司には、やはり地元の水から作られたお酒が合う。旬の素材に舌鼓を打ちながら、大将との会話を楽しんでみるのも良いだろう。

ベラビスタ スパ&マリーナ 尾道

住所/〒720-0551 広島県尾道市浦崎町大平木1344-2
TEL/084-987-1122 www.bella-vista.jp



6.カウンターで大将が握る寿司に対するこだわりや食材に関する質問をしてみよう。誠実な人柄の大将の話を聞くと、一貫に込められた想いを理解する事ができるだろう。その上で寿司を口にすれば、その美味しさに格段の違いを感じる。7.おまかせ寿司は12貫程度が用意され、他にも瀬戸内鮮魚の造りや季節の一品が味わえる。8.前菜として季節の一品が並べられるため、メニューは固定されていない。それ故、今一番美味しいものが食べられるのである。



9.無人島で完全プライベートの開放的なバーベキューを楽しむ事ができる。10.境が浜マリーナに係留されたボートを眺めながら棧橋を散歩。11.内面から美しく輝きたいアジアの女性のためにオープン。12.カフェからはマリーナが一望でき、リゾート気分を味わえる。13.爽風カフェで出される食事はどれも華やかで、見ているだけでも気持ちが弾む。料理のクオリティも高く、どれも十分満足できそう。



境が浜マリーナでお洒落なランチで充実したひとときを楽しむ

マリーナと連動したサービス

ポーナムを停泊させた境が浜マリーナは運営元がベラビスタと同じという事もあり、ホテル滞在時にはサンセットクルーズや無人島でのバーベキュー等、瀬戸内海を楽しむための様々なアクティビティが用意されている。また、マリーナにはアジアンビューティーをテーマとした「爽風カフェ」もオープンしており、ここからはより近い位置で瀬戸内海の美しい海を感じる事ができる。また、時折吹き抜ける浜風がとても心地良く、海外の有名リゾート地のカフェに在るような、そんな開放感にも包まれる。料理はパスタがおすすめで、充実のラインナップは女性ならずとも男性でさえも迷ってしまうそう。中でも渡り蟹とトマトのスパゲティは絶品で、濃厚な蟹の旨味が凝縮されたソースがパスタと見事に絡み合っており、とても印象的だった。ホテル内のレストランはもちろん、こちらでも素敵な空間で質の高い料理が楽しめる。海から戻った夕暮れ時、ボートをバックに瀬戸内海のサンセットを楽しんでみるのも良い。

この環境が 日常を非日常へと変えてくれる

ポーナムでの優雅なクルージングから始まった一日はあっという間に夕暮れを迎える。瀬戸内海の美しい島々をポーナムから眺め、期待に胸を膨らませ訪れたベラビスタで空と海と水盤が見事に織り合うあの景色に見惚れる。きっと誰もが感じるであろう興奮を温もりのあるロビーがそっと収め、自分だけのプライベート空間に向かう準備をさせてくれる。旅の疲れを天然温泉が芯からほぐし、地元の食材を飽きることなく楽しむ。最後は自分がボートでクルージングの末にここにたどり着いたという事にもステータスを感じて欲しい。他に何もしなくとも、こうした環境があなたを日常の世界から非日常の世界に誘ってくれるだろう。そのとききっと今日ここへ来て良かったと心底思っただけでいい。あとは何も考えずただこの空間を楽しんでいけば、豊かな自然に囲まれたベラビスタがそっとあなたを包み込み、特別な一日はゆっくりとその幕を降ろす。



マイボートだからできるプレミアムな時間…
島々と海が織りなす絶景を巡る
日本三景「松島」クルージング

次々と現れる島に思わず心が踊る。点在する島々には興味深い歴史や見所が存在する。
大きさや形が異なる個性的な島々が穏やかな海と調和する事で、日本三景としての美しい景観を形成している。
島の緑と空の青のコントラストが美しい松島湾を、尽きない好奇心とともにポーナム35が進む。
冒険心と探究心に溢れる松島クルージングの始まりだ。

SIGHTSEEING CRUISING





観光船では味わえない マイボートだからできる クルージングを満喫

日本三景 松島

京都府の天橋立、広島県の宮島と並び日本三景の一つに数えられる宮城県の松島。湾内には大小260余りの島々があり、それらが織りなす美しい景観は訪れた人に四季折々の表情を見せる。多島海となる松島湾では観光船による島巡りが大きな人気を集めている。また、湾周辺の松島丘陵には松島湾の絶景を見渡せる多くのビューポイントがある。

ポーナム35で巡る松島湾

クルージングのパートナーを務めるのはポーナム35。プレミアムクルーザーとして、クルージングはもちろんフィッシングにおいても高いパフォーマンスを発揮するマルチパーパスモデルだ。松島湾をクルージングする際には最大5名が座れるフライブリッジで、見晴らしの良い眺めを楽しんで頂く事をお薦めしたい。島から島への移動には力強い加速性能を発揮し、操船者だけでなくゲストもボートで走る喜びを味わえるのである。ポーナム35にはダカールラリーへの参戦車でもある「ランドクルーザー」の4.5LV8ディーゼルエンジンが2基搭載されている。オフロードなどで高い走破性を発揮するランドクルーザーの信頼性を知る人には、是非とも次は海上でポーナム35の走りも味わって頂きたい。



1.〈西行戻しの松公園からの眺め〉西行法師が諸国行脚中に会った童子と禅問答で敗れ、松島行きを断念したとされる場所。春になると250本余りの桜が満開になり、花見の名所としても人気のスポット。福浦島を結ぶ朱塗りの橋が遠目にもくっきりと映える。
2.〈双観山からの眺め〉松島海岸の南側に位置。頂上にある展望台は公園としても整備されており、松島湾と塩竈湾の双方が望められる事が名前の由来。ここからの景色は開放感も抜群で、しばらく眺めているだけで、気持ちを落ち着かせてくれる。
3.自分の好きな時に自分が思い描くコースを走りたい。マイボートだからできる、ひと味違うプレミアムなクルージング。そんな最高の演出をしてくれるのがポーナム35である。



4.〈くろしお 北浜マリンベース〉東北エリア屈指のボート販売規模を誇る。ボート免許取得からボートを使った海の楽しみ方の講習まで、お客様を幅広くサポートしてくれる。初めて海の世界に触れる入門者からベテランボートオーナーまでホームボートとして安心して利用できるマリナーだ。
5.開放感あふれるウッドデッキ。クルージングの始まりはここから。
6.松島を知り尽くしたスタッフの山本さん。とても明るく、気さくな方なので、プレミアムなクルージングを楽しみたい場合は、是非、相談してみてください。親切、丁寧なアドバイスいただけます。

島巡りの前に

今回のクルージング拠点となるのは東北エリアで屈指の規模を誇る「くろしお 北浜マリンベース」。松島湾の魅力が長年多くのボートオーナーに伝えてきた老舗マリナーを拠点にポーナム35はいよいよ松島湾クルージングへ出発する。クルージングにあたっては、くろしお 北浜マリンベースの山本氏に松島湾を航行する際の注意点をいくつか説明して頂いた。というのも松島湾には多数の島々が海面から顔を覗かせているが、それらが全てではない。注意すべきは今にも海面に顔を出しそうな数多くの暗岩である。また、干潮時に浅瀬になるエリアでは魚探等でしっかりと深さを確認しながら慎重に航行しなければならない。そして、こうした情報は当日海の上で確認するのではなく、クルージング前に済ませておく事が必要だ。安全第一で航行すれば、松島湾は決して危険ではなく、むしろ優しく我々を迎え入れてくれるのである。

島巡りのスタート

準備が整ったらいよいよ松島湾へ向けて出航する。海も穏やかでポーナム35は気持ち良さそうに海面を進んでいく。次々と視界に飛び込んでくる島々に、実はこんな謂れがあったのかと感心しながら島を丁寧に見て回る。乗り合い観光船とは違いマイボートによるプライベートクルージングであれば、自分の気に入った島をゆっくり眺める事ができる。写真を撮りたければ自分の好きなアングルで納得するまで撮れる。まさに大切な仲間との特別な時間を作れるのだ。こんな時には、トヨタマリン独自の技術が威力を発揮する。それが、TVAS (トヨタ パーチャル アンカー システム) だ。簡単に説明すると、ボートに搭載されたコンピューターが位置、風向き、潮流の方向を判断し、自動制御でボートの位置や方向を保持してくれる画期的な操船支援システムである。まさに、アンカーのいらぬアンカリングなのだ。ボートを止めて景色に見とれていると、ともすれば風や潮に流されて、島に近付き過ぎてヒヤリとする事もありそうだが、こうした先進技術によりポーナムなら安心して松島湾クルージングを楽しめそうだ。



7.いよいよプレミアムな島巡りクルージングがスタート。日本三景の魅力溢れる景観に出会える事にわくわくする瞬間だ！
8.細かく並べられたわかめ養殖のブイ。
9.宮城県名産の牡蠣。稚貝はホタテの貝殻で育てられている。この稚貝は広島県や三重県等牡蠣の名産地に送られている。
10.TVASを使いながら観光名所をゆっくりと遊覧。ドライバーでも安心して景色を楽しめる。

ちょっとした豆知識がクルージングを更に楽しくさせてくれる

ただ見るだけでなく歴史も知る

せっかく松島湾を巡っているのだから、島を一目見ただけで写真を撮って、さあ、次へ行こうでは少しばかりもったいない。その島の見所や、島の名称の由来などの豆知識を知っていても損はない。むしろ、そういった自分の知らない知識に触れるのもクルージングの楽しみではないだろうか。島巡りの途中、眼の前に現れた島とじっくり向き合う。すると今まで以上にクルージングのワクワク感が高まり、次の島への興味が高まってくる。クルージングの中盤、松島のシンボリック存在「五大堂」を目指しボートを進める。海上から正対して見上げる五大堂は荘厳な雰囲気を感じ、放ち我々を見つめている。仙台藩初代藩主の伊達政宗によって創建されたこの建物からは、何年にも渡りこの海を見続けてきた目には見えない威厳が漂っていた。いにし

えに思いを馳せていると五大堂から本当に視線を感じる。我々に返ると参拝に来ていた観光客の視線がポーナム35に注がれているではないか。やはりこうした名所をマイボートに乗って、マイペースで巡る事にはある種の特別感を感じる。改めてプライベートクルージングの魅力が強く実感できたのである。五大堂を後にして、有人島の桂島と野々島の間を抜けて、野々島と寒風沢島の間にある寒風沢水道に入って行く。途中、見ず知らずの我々に手を振ってくれた島の皆さんを目にし、島から漂う暖かい空気にも触れられた。その後、寒風沢島と宮戸島の間にある鱒ヶ淵水道を航行。ここは、観光船のコースから外れ、まるでアマゾン川のような野性的な景色が両岸から迫り、秘境にきたような、どこか冒険心をくすぐられる感覚を味わえる。松島には、他にもたくさん見所が残されているだろうが、そろそろ日が傾き始めたので、楽しみを次に残し、出航地へと船首を向けた。



1.〈馬放島〉塩竈神社で仕えた御神馬が老いてから余生を過ごしたという島。
2.〈地蔵島〉島には小さな波よけ地蔵が祭られ、出航するボートをいつも見守ってくれている。

松島は「海」からの眺めも素晴らしい

松島に点在する島々を陸から眺めて、写真に収めるだけでは少々もったいない。遠くに浮かぶ島々と海との調和された絶景を望むだけで、思わず声をあげてしまう事も確かだ。しかし、それだけでは松島の魅力を全て理解したとは言いがたい。やはりここではボートに乗って様々な島をじっくりと巡って欲しいのだ。その時、陸からでは味わえないような臨場感と、ボートで来なければ見れないような景色を楽しめるはずだ。併せて、島に刻まれた歴史を学ぶ事ができたならなお素晴らしい。そうすれば、ここで得た知識が楽しかった思い出と相俟って、深い記憶として残るに違いない。ボートで海に出る事は、あなたの休日を一層充実させてくれるだろう。海に広がる可能性は無限大なのだ。



8.〈五大堂〉松島のシンボル。五大堂は大同2年(807)に建立された、国重要文化財。「大聖不動明王」を中心に、「東方降三世」、「西方大威徳」、「南方軍荼利」、「北方金剛夜叉」の五大明王像を安置したことから、五大堂と呼ばれている。



9.〈陰田島〉そのゴツゴツした形状から、松島で一番男性的とされる島。
10.〈鱒ヶ淵水道〉自然に包まれた雄大な景色の中で、別世界に来たようなクルージングが楽しめる。



3.〈仁王島〉松島湾の象徴的な島の一つ。その形が仁王様に似ている事から名づけられた。
4.〈鐘島〉4つの洞門に波が当たると、鐘の音のように聞こえる事が名前の由来。橋を架けたように見えるところから別名「橋架け島」とも呼ばれる。
5.〈在城島〉仙台藩藩主の伊達政宗が月見の宴を開いたと言われる島。「このように見渡す限りの視界なれば、落城の憂いなし」と言ったのを家来が聞き、城がなくても在る城の島と書いて在城島と命名したとされる。
6.〈鎧(よろい)島〉鎧の肩掛けに似ている事が名前の由来。波頭のような独特の形。
7.〈鑿(あぶみ)島〉ワニの口のように見える島。遠近法を利用した写真を撮ると面白そう。



GOURMET SPOT



大黒寿司
住所/〒985-0003 宮城県塩竈市北浜3丁目9-33
TEL/022-367-6396
営業時間/11:00~15:00(14:30 LO)、16:30~21:00(20:30 LO)
定休日/木曜、祝日の場合は営業



塩竈市は人口当たりの寿司店の数が日本一と言われている寿司激戦区だ。その中から地元出身くろしお 北浜マリンベースの山本氏にご紹介いただいたのが、創業30年の大黒寿司である。カウンターには独自のルートから仕入れたという近海もの新鮮なネタが数多く並ぶ。また、赤酢を使ったシャリは香り高く、コクがありながらサッパリしており、素材の旨味を十分に引き出す。

一番人気は特上寿司(¥3,200 税別)。その中でもマグロのトロとアナゴが特に自信作。大トロや中トロはもちろん、赤身を最高に旨いと言わせる大将が握る寿司は一食の価値あり。お店のもう一つのお薦め料理は、あら汁だ。お椀からあふれんばかりのたくさんの具と魚の旨味がたっぷり染み込んだみそ汁を口に含むと言葉を失うほどの感動が湧きあがる。

HOW-TO TROLLING

人間の魂を揺さぶる本物の感動を求めて ポーナムで トローリングデビューのススメ

1本の細いラインで繋がっただけの人間とカジキによる壮絶な戦い。
トローリングを楽しむポートオーナーにとって、これほどアドレナリンが湧き出る時間は他にない。
リールのドラッグ音が「ジー」とけたたましい音を立てたその時、夢が詰まったドラマのスタートだ。
そんな魂を揺さぶられるカジキ釣りの世界に、思い切って飛び込んでみよう。
ポーナムなら行ける。カジキ釣りのロマンをどこまでも追いかけられる。
まずはこれを読んでトローリングへの扉を開いてみよう。

トローリングとは？

このフレーズだけではピンと来ない方もいると思うので、まずはトローリングが何かを簡潔に述べておきたい。ここで紹介するトローリングというのは“ルアーをボートで引っ張って大型のカジキを狙う事”だ。この方法で釣れる魚は、大型のカジキ以外にもクロマグロ、シイラ、サワラと魚種は豊富だ。だがその中でも俄然人気が高いのはやはりカジキだ。夏のシーズン中ともなれば全国各地で大小様々なビルフィッシュトーナメント(カジキ釣り大会)が開催されるのである。





1. トローリングでも抜群のポテンシャルを発揮するポナム35。全員がルアーに全神経を集中し、最高の瞬間に備える。けたたましくリールが鳴った瞬間から、ボートの中が一転！いち早く、流しているルアー等をして、ファイトに入る。2. 広々としたキャビンはトローリングの疲れを癒してくれる。3. 4. カジキ釣りの面白さのひとつが、ルアー選びである。大小様々な形や色をしたルアーの中から、その時期のベイトやヒットカラーの情報を集め選択するのが望ましい。この情報が大きい物を言う。例えば、「とある1日にヒットした人達のルアーが同じ系統のカラーだった」というのはしばしば耳にする話だ。他にもルアーの前やボートの後ろに取り付けるティザーと呼ばれる道具がある。こちらは泡や音を出して魚の興味を引きつける集魚器だ。こうした道具をチョイスしている時間もオーナーにとっては楽しいひとときなのだろう。



カジキ釣りはチームスポーツ

免許、ポート、道具が揃えばいよいよ出航が近づいてくる。トローリングに向かう準備ができたなら、ここでクルー集めの開始だ。そもそもカジキは個人で釣るものではないという事を覚えておいて欲しい。ロッドを持ったアングラが一人で釣り上げられるものではなく、ボートに乗ったメンバーでチームを組み、それぞれが役割を全うして、みんなで釣り上げる魚なのだ。実際、チームワークでカジキを釣り上げるのは容易ではないのだが、こうした困難を乗り越えて釣り上げた時には、一人で喜ぶ時の何倍もの大きな喜びを仲間達と分かち合えるのである。これが、ビルフィッシュゲームが今まで多くのファンを虜にしてきた要因の一つである。

カジキ釣りは情報が物を言う

大海原にカジキを探しに行くのだから、とにかく関連する情報を集めない事には話にならない。天気が良いからどこかで適当にルアーを流そうといった発想では思うような結果は出にくい。主にカジキが泳いでいると言われる黒

潮の流れ込み方、大陸棚の位置、前日までの釣果情報、今ベイト(餌)になっている魚種… 集め出したら切りがないように思えるが、これらの情報こそが当日のカジキ釣りを有利に進めるためには重要なのだ。しかし、黒潮の流れというのは上級者であっても予想が難しく、当日ポイントまで行ってみたら意外と良い潮が入っていなかったなんて事も少なからずある。ましてやトローリングを始めて間もない段階では、潮の流れを読み間違えて全体的外れのポイントに入ってしまう事だって度々ある。そのため当日少しでもトローリングを効率良く行おうとすると、こうした情報を数多く把握しておく必要があるのだ。そして、出航直前に行うのが、最近トローリングに行った友人やマリナスタッフからの情報収集だ。彼らは現場において様々なテクニックや仕掛けを駆使し、その生きたデータを沢山持ち帰っている。しかしながら誰もが、こうした情報をやすやすとは教えたくないもの。日頃からお互いに情報交換をし合えるような人間関係を築いておく事も実は大切だったりする。沢山の情報を集めておけば、万が一その日の出だしのポイントが空振りだったとしても、そこからいくらでも戦略を立て直せるのだ。これでカジキ釣りにおいて情報量がいかに重要かがお分かり頂けたらろう。

トローリングに適した時期

カジキ釣りは6月~9月がシーズンと言われている。この時期には様々な海域でトローリングを楽しむプレジャーボートの姿を目にするようになり、特に最盛期である真夏の7月~8月にもなると毎週のようにトローリングに出掛けるボートオーナー達もいる。シーズン中にはチーム全員がお洒落なデザインを施したお揃いのポロシャツを身に付け、カジキ釣りを楽しむのが、ある種のステータスにもなっている。トローリング愛好家を自負するボートオーナーにとっては、1年で1番気合の入る時期であると同時に、気持ちの良い陽光を浴びながら仲間と海で過ごす最高のシーズンでもあるのだ。

釣ってみたい! でも何から始める?

トローリングを始めるにあたり、まずは船舶免許とマイボートが必要となる。トローリングの対象海域は非常に広いので、免許の種類としては一級小型船舶操縦士免許を

ハウツー トローリング 入口は、ここから始まる...

取っておきたいところだ。そしてボートのサイズだが、トヨタのポナムシリーズにラインナップされるポナム31かポナム35であれば、まず問題なくトローリングを楽しめるだろう。免許とボートの準備が既にできているという方も、トローリングのための道具の調達が必要だ。カジキ釣りに必要な道具は意外と多く、上等なもので揃え出したらある程度の出費を覚悟しなければならない。従って入門時にあたってはボートを買った販売店やマリナ、もしくは既にトローリングを楽しんでいる友人に道具の揃え方をアドバイスしてもらおうのが良いだろう。すると比較的手頃な価格帯で良い道具が見つかり、低予算で入門出来てしまったりするものである。

5. キャプテンは主にチームの統制と操船。カジキがいると思われる海域までボートを正確に導き、練り上げた戦略でヒットさせる。また、カジキとファイトする時にはボートの向きを状況に応じて変え、アングラの負担を少しでも軽減させる事が求められる。6. アングラはロッドを通してカジキと駆け引きをしながら、慎重にポート付近までカジキを寄せる。常にラインにテンションを掛ける事を忘れず、その強度を意識しながらカジキとの微妙な駆け引きを制する事が求められる。7. アングラがラインを巻き切ると、ラインとルアーを繋ぐリーダーが見えてくる。リーダーはラインよりも強度があり多少の無理が利くため、リーダーマンはこれを掴み慎重にカジキをボートまで手繰り寄せる。ここまでくるとファイトも終盤になりカジキの抵抗も一段と激しくなるので、予期せぬカジキの猛攻に十分注意しなければならない。8. リーダーマンが手繰り寄せたカジキにギャフ(先端が鉤針状の棒)を打ってランディング(カジキをボートに取り込む)をする。最近ではタグの付いた棒でカジキに小さな印を打ってから海に返すタグ&リリースも流行しており、こちらはカジキを殺生せず海に返す、言わばキャッチ&リリースのようなスタイルである。9. チェアマンはアングラがカジキに向かって真っすぐファイトできるように椅子を回す。

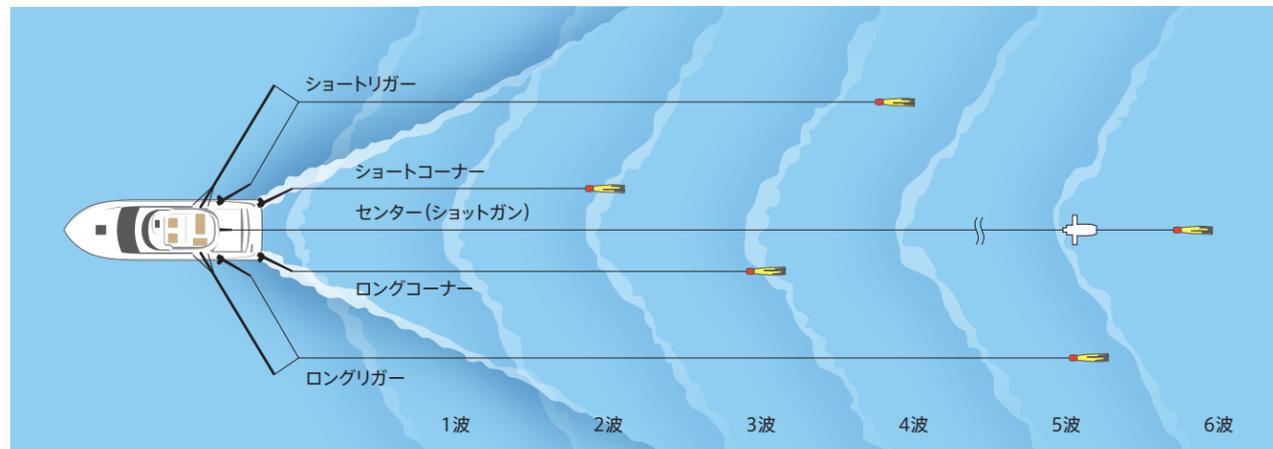


基本となる 仕掛けとは…

仕掛けの概要

一般的なカジキ釣りではボートの両サイドに2つずつロッドホルダーを取り付け、左舷の前後で2本、右舷の前後で2本、この計4本のロッドでカジキを狙う。ロッドホルダーは外付け式より埋め込み式が推奨されている。それはボートでルアーを引っ張る際やヒットした時、ロッドホルダーにも大きな負荷がかかるため、埋め込み式の方が安全面や機能面において優れた能力を発揮するからだ。だが両サイドから2本のロッドに付いたルアーをそのまま流してしまうと、程なくしてラインが絡み合ってお祭り状態になってしまう。それを解消するのが、アウトリガーと呼ばれるものだ。分かりやすく言うと、槍に似たポールが鳥の羽のようにボートの両サイドに3メートルほど広がっているもので、そのポールの先端に両サイドキャビン側の2つのロッドから出るラインをそれぞれ通過させることで、左右同じ方向から出ているラインが絡むのを防いでくれるのだ。こうすることで効率良く4つのロッドを機能させカジキに誘いをかける事が可能となる。また、カジキの仕掛け自体も多岐に渡り、タックルを揃える前に行うのがラインクラスの決定だ。ラインクラスとはすなわち使用するラインの強度を意味し、これを基準にロッドやリールを選ぶ事になる。現在のラインクラスの主流は50ポンドだろうか。50ポンドの意味はその名の如く、24kg (50ポンド) の負荷で切れる

事を意味している。他にも30ポンド (上級者向け) や80ポンド (初心者向け) があり、自分のスキルに応じて最適なラインクラスを選択する事が重要だ。注意すべきは、ロッドやリールはラインクラスに応じて使えるものが決められているため、例えば50ポンドラインを買ってもロッドとリールが80ポンド用のものであると、使用する事ができないといった点だ。こうしたチョイスもまずは経験者や販売店、マリーナのスタッフに相談される事をお勧めしたい。



1.流している全てのルアーに異常がないかと注意深く看視。ゴミ等が引っかかってしまうとカジキが寄ってきてもヒットしない。また、食い気のあるカジキはビル(上顎)を出してルアーにアタックしてくるのでその瞬間を見るのは感動的だ。 2.ルアーの動きに注目! 波の上で上手くルアーが泳ぐように長さを調整する。 3.これらのリールのドラッグ音が鳴った瞬間、ファイトが始まる!!

安全面にも細心の注意を払う

全ての準備が整えば、あとはカジキを釣りに行くだけだ。仲間とカジキ釣りに出かける。それだけ聞くとどこか華やかなイメージを持ってしまいがちだが、安全面には十分な注意をする事が求められる。カジキは人間の準備不足や油断などお構いなしだ。必死に抵抗しファイト終盤ともなると急に沖に向かって泳ぎ出したり、突然大きくジャンプする事だってある。経験が豊富だから、腕力に自信があるからなどと言って油断してかかると思わぬ怪我に見舞われる事だってある。そうならないためにはせっかくのトローリングも台無しだ。もちろん仲間同士で安全への意識を徹底する事で、こうしたリスクを大きく減らせる。安全面には気を使い過ぎるくらいが丁度良いのだ。それだけ大掛かりな釣りであり、カジキを手にした時の喜びも大きいからだ。

この感動は釣って見ないと分からない

どれだけトローリングの魅力を伝えようとしても、ここではその半分も伝えられていないと思う。実際に自分なりのルアーや仕掛けを確立し、仲間とボートに乗ってそのルアーを流し、そしてカジキとのファイトを船上で楽しんでこそ、カジキ釣りの魅力を本当の意味で理解して頂けるのだと思う。自分のポーナム、自分が作った仕掛け、自分が集めた仲間、その全てがカジキを釣るためのものだから、あのドラッグ音が鳴り響いた瞬間というのは堪らない。待ちに待ったその時、あなたはきっと大海原の中心で叫んでいるだろう。



4.何よりも安全第一! ライフジャケットは必ず着用しよう。 5.カジキのビルを掴めば、カジキとの壮絶な戦いは幕を閉じる。鮮やかに光る銀色のカジキは長かったファイトの疲れを瞬で消し去ってくれる。誰もがこの感動の瞬間を味わう為にカジキを追い続けるのだ。



DRESS UP

PONAM-31 × TOMA AWNING



世界の常識を塗り替えた 後付けハードオーニング

ポーナム31の推奨用品に選ばれたトマオーニング。
それは、ボートオーナーの理想を形にした夢のオーニング。
パウデッキから美しい流線型を描くポーナム31、
流れるようなその造形と見事に調和するエアロダイナミクスなデザイン。
画一的で単調なオーニングとは一線を画すスタイリング。
オーニングの概念を変えたメイドインジャパン。
トマオーニングが世界の常識を変えていく。



美しいルーフデザインにより フライブリッジが水上コテージに

トマオーニングを知ったのは2000年。27フィートのフライブリッジ艇の試作モデルを搭載する現場に立ち会った時。当時、フライブリッジの屋根は、直線的なFRP製ハードトップや防水生地を使った折りたたみ式のソフトトップが常識。また、風や飛沫から防ぐ手段は、クリアのビニール素材でできた脱着式のエンクロージャーか、ガラスやアクリル、ポリカーボネートを使ったウィンドシールドをフライブリッジ前面やヘルムステーションに固定するという選択肢しかなかった。ボートデザインは美しい流線型に進化しているにもかかわらず、フライブリッジに設置された、直立したエンクロージャーの囲いは、長方形の箱のまま。機能優先の浮いた存在であった。そこに現れたトマオーニングはウィンドシールドが防いだ風を更に押し上げ、一層快適な空間を創出。ボート本体にマッチしたデザインの美しさも際立っていた。

ロングライフな素材が 日常のメンテナンスを軽減する

トマオーニングの特徴は、ウィンドシールドが開閉できる事。カーブしたシールドがスムーズに格納され、片手で開閉できるスマートで

精度の高い機構。また、2~3年で曇ってしまうエンクロージャーと違い変色も少なく、傷もつきにくいハードタイプのウィンドシールド。エンクロージャーを巻いたり、脱着する手間も省け、マリナー帰港後の片付けもスマート。使っているのはロングライフな素材ばかりで設置後のコストもほとんどかからない。他に類を見ない画期的なデザイン、そして発想に驚いた事を思い出す。

あれから15年。ステンレスパイプにソフトトップという組み合わせから、FRPで成型されたハードトップに変貌。流線型のデザインはさらに磨かれた。そして、手動で開閉していたポリカーボネートのウィンドシールドは電動式に。ボタン一つで無段階に開閉できるように進化した。





ステンレスフレームに付けられている開閉スイッチ。モーターとともに、本体に装着されたパワーユニットは、DC電源を繋ぐだけで作動させる事ができる。



コンパクトに納められているモーターユニットや動作部が特許の部分。レール部分がレールの内部に収まっていて、出っ張りがない。



FRP製の電動ルーフを固定するために、3次元の捻れをつけたフレーム構造を船体に自立させ、高い強度を持たせている。



美しい曲線を描くFRP製ルーフとステンレスフレーム。最小のピラーにより、フロントウィンドウとサイドウィンドウをできる限り広くとる開放的なデザインがトマオーニングの特徴。



精度の高い製造技術で作る オーニングは、芸術的でもある

この画期的なシステムを開発したのは、高層ビルなどに使われるエレベーターの重構造物を製造する丸菱製作所。62年の歴史と高度な技術力を持つメーカーだ。横浜ランドマークタワーやトヨタ自動車のオフィスが入居するミッドランドスクエアなど、高層ビルに使われるエレベーターの部品を製造した実績を持つ。その金属加工、成型技術の応用により作り出されるトマオーニング。プリテンションワイヤーなどエレベーターの精度を支える特殊部品が活用されているのも丸菱製作所ならではの。その実績と信頼によりポーナム31の推奨用品

に採用され、現在ではポーナム31の半数近くに装着される人気用品として広く認知されている。

正面だけでなく横風の走りも 変える、オーニング形状

トマオーニングのメリットはデザイン性や信頼性だけではない。エアロダイナミクスなデザインは、風の抵抗を軽減。125kgの重量物でありながら直立したエンクロージャーに比べ、スピードダウンはほとんどない。また、「トップヘビーになりハンドリングに影響があるのでは?」と、心配の声もあるが、操船した感覚では、ほとんどわからない。重量は重心に集中

し、旋回時には傾斜することで重量増加の影響はほとんどないと言っていいレベルだ。逆に、エアロダイナミクスな形状により、横方向からの強い風に対しても抵抗が少なく、安定したカーブラインが描ける。

メリットはそれだけではない。走行中に電動で開閉し、しかも無段階で調整できるため、フライブリッジ内の風を微妙にコントロールできる。暑い夏には大きく開け爽快感を肌で感じられる。ロングクルーズの場合は少し閉じ、体力の消耗を防ぐ。もちろん、寒い時期には完全に閉じて走る事もできる。必要に応じた風量を、簡単に調節できるので、ボートシーズンが長くなる。



出荷間近のトマオーニングが並ぶ丸菱製作所。エレベーターの部品製造で培われたステンレスの加工技術や成型技術により、精度の高い製品が出来上がる。



常に進化を続ける トマオーニングから目が離せない

常により良いものづくりにチャレンジする戸松社長の情熱によりトマオーニングは更なる進化を遂げる。自動車のヘッドライトにも使われる透明のポリカーボネートの、紫外線による黄ばみや細かいキズによる曇りを防ぐため、シリコン系ハードコートを使用。鉛筆硬度4H(コーティングの硬度は一般的に鉛筆硬度(JIS基準)で表され、通常は2B)という高い硬度と変色し難い高い耐候性を持つウィンドシールドにクオリティアップ。メンテナンス性や機能性はさらに向上した。

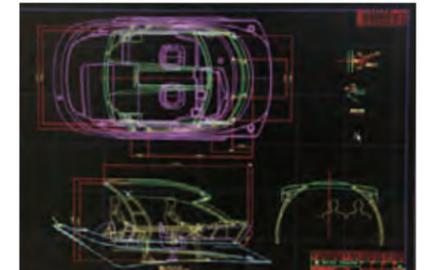
現在のラインナップは2タイプ。トヨタポーナ

ム31用に改良された30フィートクラス用と、その上の35フィートクラス用。自分の船のサイズに合わせたオーダーメイドもできる。そして、現在開発を進めている製品は、更に大きな40フィートオーバーに対応するもの。お客様の声を受け、量産化を急いでいる。

160台以上の納入実績を持つトマオーニング。トマオーニングの特許技術やデザインに、世界のボートメーカーやオーナーが注目する。トマオーニングを搭載したボートを世界の海で見る日も近いだろう。



開発を指揮し、トマオーニングの歴史や特許技術について熱く語る戸松精三社長(右)。開発当初から設計を任されている永津久仁氏(左)。二人の情熱がオーニングの常識を打ち破る。



戸松社長のアイデアを設計のスペシャリストである永津氏がCADを使い設計する。高い精度、高い強度を持つトマオーニングが生まれる環境が整っている。

COMPANY PROFILE



株式会社 丸菱製作所

住所/〒486-0807
愛知県春日井市大手町字川内1045番地
TEL/0568-31-8414
FAX/0568-31-8489
http://www.marubishi-co-ltd.com
代表取締役/戸松精三 担当/永津久仁

ANTI ROLLING GYRO

PONAM-35

なるほど!! ザ・ジャイロ

ポーナム35のオプション装備に設定されている
アンチ・ローリング・ジャイロ (Anti Rolling Gyro: ARG) 通称ジャイロ!
懐かしの科学玩具「地球ゴマ」の原理、
人工衛星にも使われている制御技術を応用した
船舶のローリング (横揺れ) を低減する減揺装置。
船の歴史が始まって以来、
当然のものとして諦めていた横揺れが、
最新の宇宙テクノロジーで
大幅に抑えられた。
夢の揺れないボートに向かって大きく前進。
いったいこのジャイロとは…?



最新型のARG175T。従来のモデルよりも
更にパワーアップされており、満載排水量
25トンクラスまで対応可能。



原理はなんと「地球ゴマ」。
爆発的にヒットした
科学玩具の原理が
船酔いの救世主に!

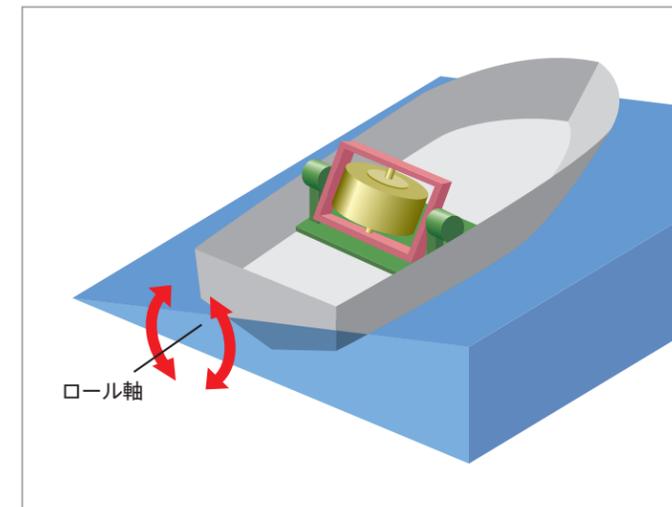


船に乗ると多くの人が一度は経験する「船酔い」。正直かなり辛い。これが理由で船が苦手になる人も少なからずいるだろう。しかし、時代は進化し、船酔いの原因となる不快な横揺れを最新の宇宙テクノロジーが、最小限に抑えてくれるのだ。それが今回ご紹介する「アンチ・ローリング・ジャイロ」(Anti Rolling Gyro: ARG)。人工衛星にも使われている制御技術の一つであるコントロール・モーメント・ジャイロ (Control Moment Gyro) 技術を応用した船の横揺れを低減する装置。

原理は「地球ゴマ」と同じ。1960年代から70年代にかけて爆発的にヒットした科学玩具。物体が自転運動をすると、外力を加えられない限り、その自転軸の向きを常に一定に保とうとする。この特性が「ジャイロ効果」と呼ば

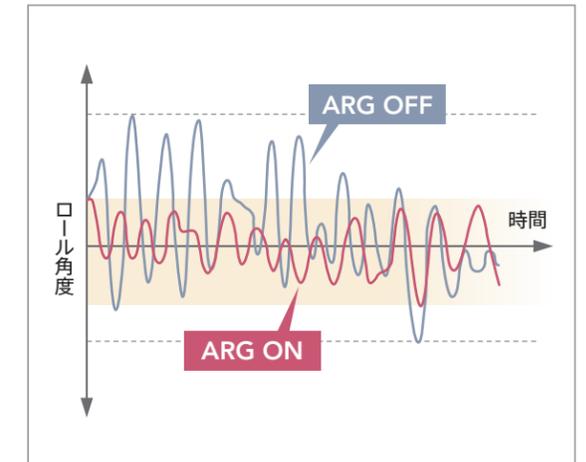
れる。難しく聞こえるかも知れないが、「地球ゴマ」が回っているシーンを思い起こして頂ければ分かりやすいのではないだろうか。「地球ゴマ」はこの効果により、安定して回っているのだ。船が横揺れしてもコマの回転軸が水平を保とうとするため、揺れを抑えてくれる。これがARGの原理で、最も船酔いしやすい停船中や低速時の横揺れを大幅に抑えてくれる。また、ジャイロトルクを利用しているため、船内のどこに搭載しても効果を発揮する。

ARGの冷却システムは、水を使わないシンプルな空冷のためトラブルも少なく、定期検査や消耗品交換以外の日常的なメンテナンスを必要としない。そして、スイッチをON/OFFするだけで利用できるのが嬉しい。



ロール軸の動きに対して、ジャイロ効果を発揮する。

ローリング特性 (波高約50cm)



〈メーカー計測〉



ポーナム35のエンジンルームに収まるARG。抜群の効果を発揮してくれる。

確実にマリンの世界で認められ始めたARG。ボートメーカーやオーナーから最も注目されている装備の一つ。

ここでARGがどれほどマリンの世界で認められてるかという事をご紹介しよう。まず国内では、省庁の監督測量船をはじめ、都道府県の漁業取締船や調査船、高速警戒艇、防災船、大学高校実習船、地方自治体旅客船、観光船などの業務艇に搭載され、乗員の安全性や作業性向上、そして、乗客の安全性向上や停船

時などのバリアフリー対策に貢献している。これらの実績が認められ、トヨタマリンをはじめ、国内ボートメーカーでオプション設定され、現在までに100隻以上に、300台以上搭載されている。

次に世界に目を転じると、ARGはフェレットィ、リーヴァ、パーシング、モキクラフト (以上イタリア)、マーキー (アメリカ)、など世界有数の大型ラグジュアリークルーザーに標準 (一部オプション) 設定され、これまでに3000台近くの実績を誇る。

近年、世界のボートメーカーやオーナーから

最も注目されている装備の一つであるARGは、人気の高級ブランド艇に搭載された事でジャイロの効果を認める人が増え、知名度やニーズは高まるばかり。機会があればぜひ、この世界標準の減揺装置ARGの威力をポーナム35で体感してもらいたい。

問い合わせ: 三咲エンジニアリング株式会社
住所/〒591-8025
大阪府堺市北区長曾根町130-42 #321
TEL/072-275-7723
<http://www.misaki-engineering.co.jp/cms/00007.html>

CHALLENGE BOAT LICENSE

今回ボート免許取得に挑戦したレーシングドライバー/自動車評論家の佐藤久実さん(右)と東京ハーバー・ボートライセンス・スクール教官の山本愛子さん。

レーサーが「キャプテン」になる瞬間

レーシングドライバー&自動車評論家

佐藤久実さん 「海の世界」へ挑戦

レーシングカーを巧みに操り、日本国内だけでなく世界のレースでも幾度となく激戦を乗り越えてきたプロレーサーの佐藤久実さん。

そんな彼女が車の世界に次ぐ新たな活躍のステージとして、海の世界に飛び込んだ。

これまでサーキットで果敢な姿を見せてきたプロレーサーは、コースが無い海というフィールドでどんな輝きを放ってくれるのだろうか。

PROFILE



レーシングドライバー、自動車評論家
佐藤久実
KUMI SATOH

大学在学中からレースに参戦し、96年には国内のN1耐久でシリーズチャンピオンを獲得。また、ニュルブルクリンク24時間レースでも入賞を果たすなど、これまでに耐久レースの分野において輝かしい実績を積み重ねている。また、こうした経験を活かし、自動車評論家としても活躍している。プロレーサーと評論家の両面からの視点で車を鋭く評価し、その的を射た論評には定評がある。日本カー・オブ・ザ・イヤー選考委員を務める。また、レース分野以外にも自動車専門誌やWEB、テレビでも幅広く活躍中。

免許取得を目指す理由

私が一級小型船舶操縦士免許の取得にチャレンジしようと思ったのには、大きく二つの理由があります。

一つ目の理由は、船を持っている人たちの楽しいマリナライフの話を知りたい、釣りが趣味の人たちの話を聞いたりして、楽しそうだなと思ったこと。実は私、半分は気分転換、半分は体幹を鍛える目的で、時々、スタンドアップ・パドル・サーフィンで海上散歩をしますが、その時も、たびたびプレジャーボートを見かけ、興味を抱いてました。ところが私は、海は好きだけど船酔いが激しく、プレジャーボートに乗った経験は数えるほど。若い頃、知人のプレジャーボートに乗せてもらいま

したが、絶好の晴天、“べた凧”なのに酔ってしまったのがトラウマになっていたのかもしれない…。なので、クルマ同様、自分で操縦すれば酔わないかなあ、なんていう期待もちょっとありました。

そして、二つ目の理由は…。現在、レーシングドライバーとして、TOYOTA GAZOO Racingからドイツ・ニュルブルクリンク24時間レースに参戦しています。国内シリーズ戦には参戦していないので、ほぼ年一ドライバー。5月のレースが終ると、燃え尽き症候群とまではいかないまでも、レース以上にモチベーションを得られるものがなく、何か集中できる目標が欲しい、という気持ちがありました。

そんな二つの思いがリンクして、一級小型船舶操縦士免許にチャレンジしてみよう!と思う

ようになったのです。

そして早速、「東京ハーバーボートライセンススクール」に入学。JR田町駅から徒歩約6分という立地、ネットで必要書類や手続きの情報が得られるのも便利。そして、受講スケジュールも個々の予定に合わせて組み立てて頂けるため、週末しか受講できない、逆にウィークデーしか受講できない、あるいは私のようにフリーランスで不定期の方に対してもしいろいろわがままを聞いて頂け、スケジュールが立てやすかったのも助かりました。

1.東京都港区にあるスクールは首都圏からのアクセスも抜群で、JR「田町駅」より徒歩約6分。教習艇はスクールの前にある桟橋に係留されており、実技教習時の移動もスムーズ。 2.教習や学科試験に使われる教室の外観。 3.ロビーにある受付で、教習前の緊張を和らげてくれる。



CHALLENGE
BOAT
LICENSE

トータル5日間で教習と試験が終了 陸と海の走りの違いにも的確に対応

集中力を高め学科をクリア

学科4日、実技1日、トータル5日間の教習。さすがに初日の学科ではかなり緊張しましたが、教官の優しい語り口でリラックスできました。1日7時間もの講義受講なんて、学生以来。眠くならないかな…なんてちょっと心配していたものの、やっぱり好きで興味あることに対しては集中力が続くものですね。

日頃、操船しないまでも船に乗っているならイメージしやすいかもしれませんが、何しろまったく無縁。船の名前から法規に至るまで、初めて耳にすることばかりだったので、余計に興味を持てました。

一般学科2日目終了後にはさっそく1回目の試験がありますが、私の場合は初日との間に数日あり、その間、仕事で鈴鹿サーキットへ。道中、電車の中で問題集に集中するあまり、降りる駅を乗り過ごしてしまったほど…。車内アナウンスすら耳に入らないほど集中していたのですね。やっちゃった…という思いと同時に、私、まだこんな集中力があったんだ、とちょっと自分自身に驚く気持ちもありました。

この試験をクリアし、後半2日間の上級学科をご担当頂いたのは、いつも笑顔で澄んだ声が素敵な山本愛子先生。友達に教わっているようなフレンドリーな雰囲気の中、ややこしい海図なども理解でき、試験も無事合格!

1.意欲的な姿勢で教習に臨む佐藤さん。やや緊張感の漂う面持ち。2.教官の親しみやすい教え方により、緊張感が徐々にほぐれていく。3.ロープワークは教官の山本さんが繰り返しレクチャーしてくれるため、結び方が手に染み込むほど練習できる。4.分からない箇所も丁寧な解説により、すっきり解消できるため安心だ。



自分の思い通りに ボートを操作する楽しさを実感

そして、いよいよ最終日は実技講習。教習艇はポーナム26。クルマよりスピードは遅いけれど、何しろタイヤも付いていなければ、まっすぐ進めるのにさえ操舵が必要と、勝手が違いすぎる! スラロームも、クルマの場合、パイロンの近くを直線的に抜ける方が良いけれど、ボートの場合、ブイは障害物なので近づいてはダメ、と。そして、感覚的に最も違うのは、クルマはコーナーで外側にロールするけれど、ボートは内側にロールすること。でも、先入観なしに教官の指示どおりに操作すると徐々に思い通りにボートが動くようになっていきました。最初、操舵してもすぐには反応せず、ワントン置いてから向きが変わり出すタイミングを掴むのにちょっと戸惑いましたが、あ〜、雪道の走り方と同じだ、と思うと、むしろゆっくり対応すれば良いので気が楽になり、落ち着いて操舵できるようになりました。



5.操船に関しても丁寧な指導を受けられる。スキルに応じて的確なアドバイスをもらえるので、上達も早い。
6.エンジンを見つめる佐藤さんは真剣そのもの。その顔つきはレーシングドライバーに戻ったようだ。
7.一箇所ずつ丁寧な説明を行い、要点をしっかり理解させてくれるので知識の修得も早い。



8.ブイの間をスラロームする時は免許取得前とは思えない操船センスを発揮。さすがレーシングドライバー、コツを掴むのが早いようだ。9.人命救助も難なくクリア。ハンドルの微妙な操作テクニックが光る。10.方位確認も真剣に取り組む。何事にも全力姿勢の佐藤さんの姿は見ていて本当に清々しい。

心配していた船酔いはまったくなく、約1日の実技講習はあっという間に終了。そのまま同じ場所、同じボートで実技試験に臨めるので比較的リラックスできました。実技試験で一番多いミスが安全確認とのこと。この点に関しては、日頃クルマを運転し、また、ドライビング・インストラクターもやっているため、安全確認はクルマでも習慣となっていて簡単にクリアできました。

かくして、めでたく一級小型船舶操縦士免許を取得できました!

ボート免許取得で 日々の過ごし方にも変化を期待

ボートは、クルマ同様、目的地に行くための“移動手段”であり、たとえば釣りをするための“ギア”であり、一方、投錨して海上でのんびり過ごすなど“静的”な気分転換もでき、いろんな楽しみ方がありそうですね。

日頃、モータージャーナリストとして新車を試乗し、ドライビング・インストラクター、レーシングドライバーとしてサーキットを点々とするなどクルマ一色、サーキット漬けの日々を過ごしていますが、これからは、気分転換にマリナライフを満喫できたらいいなあと思っております。

英虞湾 サンセット クルージング

伊勢志摩国立公園の中心となる英虞湾は典型的なリアス式海岸で、真珠や海苔の養殖、賢島を始めとした50余りの島々の眺望などで有名だ。ここには多くの見どころがあるが、中でも雄大な英虞湾を包む夕景は言葉を失うほど美しい。その絶景に出会うべく、ポーナムに乗った。



夕景を求めて、クルージングへ出発

絶好のクルージング日和に恵まれた晩秋、ポーナム35と45が英虞湾に集結した。前方を見渡せる開放的なフライブリッジだけでなく、上質なサロンを備えた二つのモデルは、大切なゲストをもてなすクルージング艇としては最適であろう。このサンセットクルージングにヨーロッパ、アメリカ、アジア、アフリカなど世界各国でトヨタ車の生産・販売に携わっている関連会社の代表者をお招きした。

ゲストをポーナムでもてなす

一行を乗せたポーナムは静かな海をゆっくりと夕日の見えるポイントまで進んでいく。船内ではシャンパンとオードブルが振る舞われ、皆一様にリラックスして会話を楽しんでいるようだ。英虞湾はポートの往来も多く、しばしば引き波を受けるが、高強度のアルミ製ハルを採用したポーナムは悠然と波を切り、ゲストに大きな安心感を与えていた。また、ポーナム35に2基搭載された「ランドクルーザー」の4.5LV8ディーゼルエンジンは低振動・低騒音ゆえ船内に快適な空間を作り出し、日頃からトヨタ車に触れる機会の多いゲストは親近感を抱いたようだ。こうしたグローバルなゲストの「おもてなし」の場で、ポーナムの強みが十分に発揮されたのである。



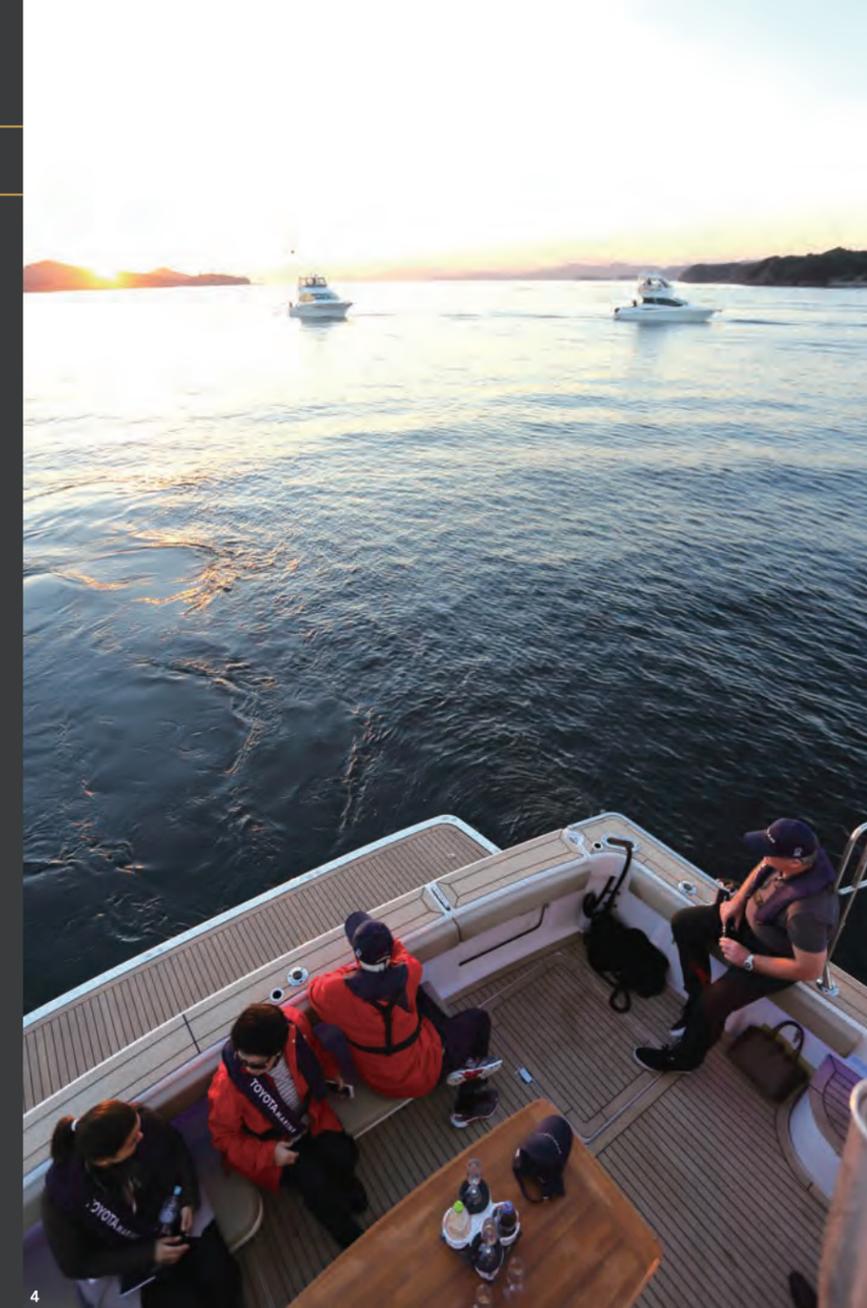
1. 桟橋に係留された4艇のポーナム。迫力ある光景を目の当たりにすれば、これから始まるクルージングに期待せずにはいられない。2. 英虞湾をゆったりとした速度でポーナムが進んでいく。風情ある景色を背景に、サンセットを目指す。3. 安定感だけでなく、静粛性にも優れたアフタデッキでは参加者がリラックスして軽食や歓談を楽しんでいた。



次々と変化する光と色彩のショー

ポーナムがサンセットを望めるポイントに到着する頃には船内のムードは一段と高まり、うっとり眺めたり、記念撮影する姿が目立つようになってきた。空一面が様々な色のグラデーションに彩られる。それが海面に映る。そして、夕日はまるでポーナムを温かく包んでいるようだった。次々と変わる空と海の色を目にしたゲストは大きな感動を味わったであろう。そんな素敵な思い出作りを影で支えていたのはゲストに安心・快適を提供したポーナムだったに違いない。

4. サンセットのビューポイントに到着。美しい夕景を背に記念撮影が始まる。撮影を終えても、ここでしばらく余韻を楽しんだ。5. 時の経過とともに空と海が、神秘的なグラデーションを描く。目の前で繰り広げられる色の移ろいを見つめるだけで心がとても落ち着く。6. 柔らかな光に包まれながら、ワイドなパウデッキで記念撮影。特別な一枚になったに違いない。7. サンセットクルージングから戻ってきたポーナムに優しいカラーの照明が当てられる。船に設置された水中ライトも輝きを放つ。二つの光によって幻想的に浮かぶポーナムの姿はとても美しい。



HAYAMA MARINA

日本ヨット発祥の地「葉山」で、国内有数の歴史と伝統を誇るマリナー



首都圏からのアクセス良好。富士山と江の島を望む抜群のロケーションで、ワンランク上の休日の過ごし方を提案。

MARINA DIVIDE VOL.7 | マリナー探訪

葉山マリナー

株式会社 葉山マリナー
〒240-0112 神奈川県三浦郡葉山町堀内 50-2
TEL:046-875-2670 FAX:046-876-1146
<http://www.hayamamarina.com>

東京オリンピックの年に葉山に誕生

神奈川県三浦半島の西、相模湾に面する葉山町。ここは日本ヨット発祥の地として、これまでに数多くのヨット愛好者を温かく迎え入れてきた歴史と伝統がある町だ。都心からのアクセスは、車・公共交通機関ともに非常に良く、豊かな自然は訪れた人を癒してくれる。この地で長年に渡り多くのオーナーと海を繋いでいるのが、今回ご紹介する葉山マリナーだ。今から約50年前となる1964年、アジア地域初のオリンピックが東京で開催され、そのヨット競技の施設として誕生以来、歴史と伝統を守り続けているマリナーだ。

相模湾の魅力

葉山はヨット発祥の地ではあるが、もちろんボートのレジャーも盛んだ。マリナーの前に広がる相模湾は魚影が濃く釣りに最適な海域だ。マリナースタッフの鍋木氏に相模湾の楽しみ方を聞いてみると、やはりボートであれば釣りとクルージングがオススメらしい。釣りであれば、マリナー付近では主にオニカサゴ、甘鯛、アカムツ等を狙った底釣りが楽しめる。一方、クルージングの場合、江の島や石原裕次郎の三周忌を記念して建てられた裕次郎灯台（正式名称は葉山灯台）までならわずか10分足らず。同じく相模湾の西に浮かぶ初島やその南の伊豆大島へは1~2時間で到着する事も可能だ。

もちろん、ここでも真鯛等が釣れる。他にも東京湾や房総半島へも気軽に訪れる事ができ、鍋木氏もこうした絶好のロケーションが葉山マリナーのセールスポイントの一つであると教えてくれた。

マリナーのここに注目

葉山マリナーの魅力、改めて鍋木氏に伺った。すると取材前に抱いていた葉山マリナーは格式が高く、施設に入るのにも緊張を強いられそうといった先入観が全くの思い違いであった事が分かった。このマリナーでは、スタッフが一人一人のオーナーと親身になって向かい合い、心が通じ合った関係を築こうとしているのだ。そのため、マリナースタッフはアットホームな雰囲気作りに常に心を配っている。こうした姿勢が長年このマリナーがオーナー達に愛されている大きな理由の一つなのだろう。他にも、マリナーでは年間を通じて様々なイベントが開催されており、こうした活動を通してオーナー同士の横の繋がりも生まれるため、マリナーが活気に包まれるのだろう。

マリナーが感じるポーナムの魅力

様々なボートを見てきた葉山マリナーのスタッフにポーナムはどんなボートに映るのか？鍋木氏に聞いたところ、「ポーナムシリーズはアルミ製ハルの効果により、波切りが良く、安定性が高い上、アフトデッキが広いので釣りがしやすいです。そのため、当マリナーのようにクルージングと釣りの両方を楽しめる場所には最適なボートだと思います。また、揺れが少なく静かなので、特に初心者の方にもお薦めしたいですね。」という高い評価を頂いた。

ここに置くステータス

伝統が脈々と引き継がれてきた歴史あるマリナーは、ここを拠点に海を楽しんでいるという事への満足感をも与えてくれる場所だ。仕事の疲れを癒しに都心から葉山の海までやって来て、のんびりとプライベートな休日過ごす。マイボートのメンテナンスや次回の航行プランを練るのもいい。このマリナーで一日ステイするだけでも、ここに漂うアットホームな空気に包まれ、リラクゼーションを堪能できるだろう。



葉山港の管理事務所入り口にヨットの帆の形をした日本ヨット発祥の地碑が立つ。葉山マリナーの隣にあるので、マリナーを訪れた際には一度は見ておきたい。



マリナープラザには和洋中4店舗が入っており、その時の気分に合わせて質の高い食事を楽しめる。他にもヘリーハンセンやオリジナルマリナグッズなどが多数揃えられたショップが並ぶ。ボートオーナーでなくても、リゾート気分をたっぷり味わえる。



かぶらぎ 鍋木 幸一さん
マリナー事業部

穏やかで親しみやすい話し方で葉山マリナーの魅力を分かりやすく丁寧に伝えてくれた。時より見せる真剣な眼差しから、このマリナーの魅力が未来に繋げて行こうとする熱意を感じた。



整然と並べられたボートとヨット。マリナーの施設はグラフィックスやドラマの撮影場所として数多く使われているので、なにかで見たような記憶が頭を過るかもしれない。葉山マリナーを運営する株式会社葉山マリナーは、京浜急行電鉄を中心とした京急グループのメンバーというメリットを活かし、イベント企画や告知などのタイアップに積極的に取り組んでいる。

PREMIUM CRUISER
PONAM-35



PONAM-35は外洋でのトローリングなど走る喜びを味わうアクティブ・クルージングから、季節の香りを五感に感じながら、ご家族やご友人、女性にも喜ばれるラグジュアリーで優雅なクルージングまで楽しめるモデルである。一步サロンに入ると、スタイリッシュな空間から非日常で贅沢な時間を感じる事が可能で、開放感ある空間で思い思いの上質な時間を過ごす事が出来る。また、キャビン奥に配置されたギャレーはシンク、電子レンジ、調理スペースの他に大容量冷凍・冷蔵庫が設置されており、ポートステイも十分楽しめそうだ。テクノロジーの面においても、従来のトヨタドライブアシストにバーチャルアンカーシステムを追加し、トヨタマリン独自の操船支援システムを充実させている。

全長/全幅	11.95m/3.94m
総トン数	10トン
エンジン型式(ディーゼル)	M1VD-VH
エンジン出力	272kW(370PS) × 2基
使用燃料	軽油
ハル	アルミ合金製
燃料タンク容量	850リットル
清水タンク容量	170リットル
定員	12名
	フライブリッジ 5名
航行区域	沿海
ヘルムステーション	2
インテリアカラー	ブラック&ホワイト
本体メーカー希望小売価格(税抜)	58,200,000円



SPORT UTILITY CRUISER
PONAM-31



海における「Fun to Drive」。PONAM-31はこの言葉通り、「スピード」「乗り心地」「居住性」の全てにこだわり抜いた、「走りの楽しさ」を体感出来るボートだ。抜群のスピードがありながら安定した走行性は、海との一体感を味わえ、スポーティーな走りを十分に楽しめる。また、クルージングやフィッシングなどのアクティビティだけでなく、機能的で開放感のあるキャビンではラグジュアリーで快適な時間を過ごす事も可能だ。他にもオプションでトヨタドライブアシストやトヨタバーチャルアンカーシステムを装着可能で、これによって飛躍的に操船の負担も減り、レジャーを楽しむ時間が増えそうだ。まさにスポーツユーティリティークルーザーの名に相応しい新しい可能性を秘めた1艇と言える。

全長/全幅	10.57m/3.20m
総トン数	6.6トン
エンジン型式(ディーゼル)	M1KD-VH
エンジン出力	191kW(260PS) × 2基
使用燃料	軽油
ハル	アルミ合金製
燃料タンク容量	620リットル
清水タンク容量	110リットル
定員	12名
	フライブリッジ 5名
航行区域	沿海
本体メーカー希望小売価格(税抜)	29,700,000円



中古艇をお探しなら、 安心のトヨタ認定中古艇



※画像はイメージです

安心1
検査
Inspection

安心2
整備
Maintenance

安心3
保証
Warranty

日本初

トヨタマリン営業所直販のトヨタポーターシリーズを対象とし、トヨタ独自の厳しい品質基準をクリアした中古艇のみご紹介いたします。

中古艇の種類は非常に豊富で、近年用途に応じて様々なモデルを見る事が出来るようになりました。そのため一言で「同型の中古艇」としても年式やエンジンの使用状況、装備等によって市場価格はまちまちです。それだけボートの状態というのはユーザーの皆様からシビアに評価されるポイントで、逆を言うとしっかり整備されて安心して乗れる中古艇こそ市場において最もユーザーの皆様から求められていると言っても過言ではありません。そんな状況下で、日本で初めてポーターメーカーの品質保証が付いた中古艇が登場しました。これが「トヨタ認定中古艇 (CUB)」です。これはトヨタマリン営業所直販のトヨタポーターシリーズを対象とし、トヨタ独自の厳しい品質基

準をクリアした中古艇にのみ認定を行うというもので、そのチェック項目数は機関系、電気系、給排水系、艙装品など全部で約100に渡ります。チェックはトヨタマリン営業所の経験豊富なスタッフが担当し、厳正な眼によってA (問題がない状態)、B (修理や調整が必要な状態)、C (部品交換が必要な状態) の評価を付けます。そしてB評価、C評価の箇所は、A評価の状態にまで整備いたします。中古艇選びは素人の目だけでは難しいのが現状ですが、こうしたメーカー保証が付いたポーターをご提供出来る流れが生まれたのは、ボーター業界としては画期的な出来事です。皆様もポーターを中古艇で選ぶ際、トヨタ認定中古艇を視野に入れてみてください。

トヨタ認定中古艇の3つの安心。

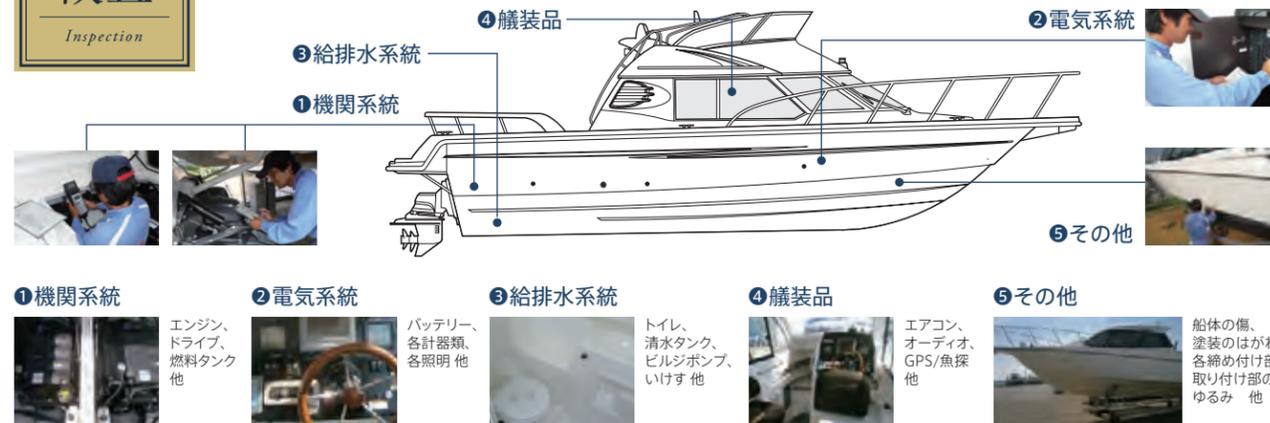
チェック項目を3段階評価

- A** 問題なし **B** 修理、調整で対応可 **C** 部品交換が必要

安心1
検査
Inspection

厳しい眼で徹底的にチェック

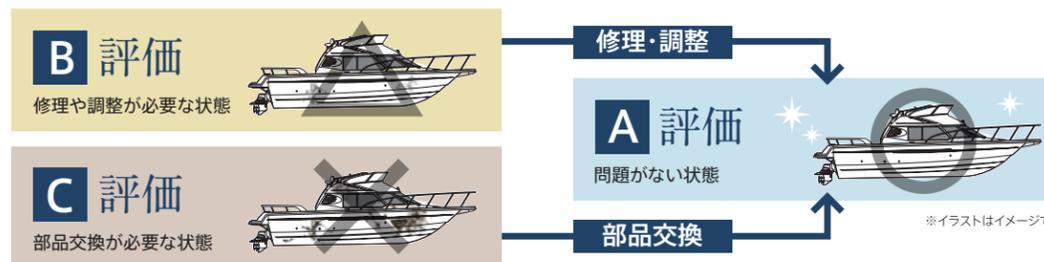
機関系、電気系、給排水系、艙装品など約100項目を、トヨタマリン営業所の熟練スタッフが厳しくチェックいたします。



安心2
整備
Maintenance

中古艇だからこそ、しっかり整備

チェック項目で、「B」評価、「C」評価の箇所について、「A」評価の「問題なし」の状態にまで整備いたします。



安心3
保証
Warranty

日本初

購入後の安心はトヨタマリンの強み

トヨタマリン営業所直販のポーター中古艇には日本で初めてポーターメーカーによる品質保証をお付けしております。購入後も安心のマリンライフをサポートいたします。

保証条件	保証期間	保証内容※
新艇納艇後から5年未満かつ アワーメーター750時間未満	お客様引渡日 または ①アワーメーター100時間	6ヶ月 標準装備及び中古艇販売時に施工した装備品を無償修理・部品交換
新艇納艇後から7年未満かつ アワーメーター1,000時間未満	お客様引渡日 または ①アワーメーター50時間	3ヶ月

※詳しい保証内容は、トヨタマリン営業所までお問い合わせください。

トヨタ認定中古艇をご検討中のお客様へ

不安に思う事や、不明点などありましたら、お気軽に右記までお問い合わせください。スタッフが丁寧にお答えいたします。

トヨタマリン営業所

0120-532-451

営業時間 9:45~17:30
(定休日:水・木曜日)
〒443-0014 愛知県蒲郡市海陽町2-1

トヨタマリンホームページ <http://www.toyota.co.jp/marine/>

CINEMA CRUISING

シネマクルージング

大人もときめく、感動の話題作8選。



©2015 WARNER BROS. ENTERTAINMENT INC. AND RATPAC-DUNE ENTERTAINMENT LLC ALL RIGHTS RESERVED.

『白鯨との闘い』

ハーマン・メルビル氏の名著「白鯨」に隠された真実を描いたノンフィクション「復讐する海 捕鯨船エセックス号の悲劇」をもとに、「アポロ13」「ビューティフル・マインド」の名匠ロン・ハワード監督が実写化。白鯨と死闘を繰り広げた男たちの生還までの姿を描いた渾身の超大作。船を破壊され、大海に放り出された男たちを待ち受ける壮絶な試練。「アベンジャーズ」のソー役で知られるヘムズワースが主人公の一等航海士オーウェン・チェイスを演じ、「007 スカイフォール」のベン・ウィショーが「白鯨」の原作者・メルビル氏に扮している。

監督／ロン・ハワード
出演／クリス・ヘムズワース、ベンジャミン・ウォーカー、キリアン・マーフィー、トム・ホランド、ベン・ウィショー
1月16日(土)よりミッドランドスクエア シネマで公開

『オデッセイ』

火星にひとり取り残された宇宙飛行士のサバイバルを緻密な科学描写とともに描いたベストセラー小説「火星の人」を映画化。主人公ワトニーをマット・デイモンが演じ、「エイリアン」「ブレードランナー」などSF映画の傑作を残してきた巨匠リドリー・スコットがメガホンをとった。火星での有人探査の最中、嵐に巻き込まれてしまったワトニー。仲間たちは緊急事態を脱するため、ワトニーを置いて火星を去ってしまう。奇跡的に死を免れていたワトニーは、酸素は少なく、水も通信手段もなく、食料は31日分という絶望的環境であらゆる手段を尽くしていく。

監督／リドリー・スコット
出演／マット・デイモン、ジェシカ・チャステイン、クリステン・ウィグ、ケイト・マーラ、ショーン・ビーン、セバスチャン・スタン
2月5日(金)よりミッドランドスクエア シネマで公開



©2015 Twentieth Century Fox Film



©2016「の・ようなもの のようなもの」製作委員会

『の・ようなもの のようなもの』

2011年に急逝した森田芳光監督のデビュー作「の・ようなもの」のその後を描くオリジナル作品。主演は松山ケンイチ。伊藤克信、尾藤イサオ、でんでんといったキャストが前作と同じ役柄が登場。

原案／森田芳光 監督／杉山泰一 脚本／堀口正樹
出演／松山ケンイチ、北川景子、伊藤克信、尾藤イサオ、でんでん、野村宏伸
1月16日(土)よりミッドランドスクエア シネマで公開



©石井あゆみ/小学館 ©2016 フジテレビジョン 小学館 東宝 FNS27社

『信長協奏曲(のぶながコンツェルト)』

石井あゆみ原作の同名コミックを小栗旬主演で実写化したテレビドラマの劇場版。歴史が大嫌いな高校生が、ひょんなことから戦国時代にタイムスリップ。そこで自分にそっくりな青年に出会う。

原案／石井あゆみ「信長協奏曲」(小学館「ゲッサン」連載中)
監督／松山博昭
出演／小栗旬、柴咲コウ、向井理、藤谷太輔、水原希子
1月23日(土)よりミッドランドスクエア シネマで公開



©2015 CTMG All Rights Reserved.

『ザ・ウォーク』

「バック・トゥー・ザ・フューチャー」など数々の名作を送り出してきたロバート・ゼメキス監督が、ニューヨークのワールドトレードセンターで命がけの綱渡りを敢行した男の物語を3Dで映画化。

監督／ロバート・ゼメキス
出演／ジョセフ・ゴードン＝レビット、ベン・キングズレー、シャルロット・ルボン、ジェームズ・バッジ＝デール
1月23日(土)よりミッドランドスクエア シネマで公開



©2015 WARNER BROS. ENTERTAINMENT INC., CCP BLACK MASS FILM HOLDINGS, LLC, RATPAC ENTERTAINMENT, LLC AND RATPAC-DUNE ENTERTAINMENT LLC

『ブラック・スキャンダル』

ジョニー・デップがFBI史上最も最高の懸賞金をかけられた実在の凶悪犯ジェームズ・“ホワイティ”・バルジャーを演じたクライムドラマ。監督は「クレイジー・ハート」のスコット・クーバー。

監督／スコット・クーバー
出演／ジョニー・デップ、ジョエル・エドガートン、ベネディクト・カンバーバッチ、ロリー・コクレーン
1月30日(土)よりミッドランドスクエア シネマで公開



©2016「残穢 一住んではいけない部屋」製作委員会

『残穢【ざんえ】 一住んではいけない部屋』

小野不由美による第26回山本周五郎賞受賞の同名ホラー小説を「白ゆき姫殺人事件」の中村義洋監督により映画化。主人公の「私」役に竹内結子、久保菜生役に橋本愛と人気女優が共演。

原案／小野不由美「残穢」(新潮社刊) 第26回山本周五郎賞受賞
監督／中村義洋
出演／竹内結子、橋本愛、佐々木蔵之介、坂口健太郎
1月30日(土)よりミッドランドスクエア シネマで公開



©2016 Acmik Ace, Inc. / TOHO CO., LTD. / J Storm Inc. / PARCO CO., LTD. / AMUSE INC. / Otanakakaku Inc. / KDDI CORPORATION / GYAO Corporation

『TOO YOUNG TO DIE! 若くして死ぬ』

人気脚本家・宮藤官九郎の監督作で、長瀬智也&神木隆之介共演で描く奇想天外コメディ。修学旅行中に交通事故に巻き込まれ死んでしまう高校生・大助。目覚めるとそこは、ホンモノの地獄だった。

監督・脚本／宮藤官九郎
出演／長瀬智也、神木隆之介、尾野真千子、森川葵
2月6日(土)よりミッドランドスクエア シネマで公開



ミッドランドスクエアシネマ

TOPICS

2016年夏、ミッドランドスクエアシネマ2 OPEN

2016年夏完成予定の「シンフォニー豊田ビル」2階に、ミッドランドスクエアシネマ2がオープン! ミッドランドスクエアとシンフォニー豊田ビルの2つの拠点に展開し、名古屋駅前地区最大級の合計14スクリーンに!!

プレミアム生クリームソフト「クレミア」販売中!

ソフトクリームを知り尽くした日世が技術の粋を集め、厳選された素材とこだわりの製法を駆使してできたプレミアムなソフトクリーム。深いコクと味わいが広がる上質なスイーツが、映画鑑賞をより贅沢な時間へと変えてくれるはず。



EDITOR'S VOICE

2016年新春、オーシャンスタイルVol.6を発行させていただきます。本誌では毎月トヨタのボートで日本各地を訪れ、そこで見たもの、感じたものを皆様にご紹介しつつ、非日常を味わえる遊びのご提案をさせて頂いております。今号では日本三景の一つ、宮城県の松島や広島県のペラピスタ境ガ浜から、美しい景色やその土地ならではの絶品グルメを、そして、トローリング入門編では、大きなカジキをチームワークで釣る魅力をご紹介します。さらに、レーシングドライバー、佐藤久実さんの一級小型船舶操縦士免許取得までの道程を通して、車の分野でご活躍されている方の視点で、海の魅力をお伝えしています。

このような充実のラインナップでお届けした今号のオーシャンスタイルから、マリンライフの素晴らしさ、面白さを感じて頂ける事と思います。

どうぞ、お楽しみください。

編集長 間瀬公文
2016年1月



TOYOTA MARINE Ocean Style

発行人

トヨタ自動車株式会社

編集長

間瀬公文(新事業統括部 マリン事業室)

企画・制作

M's PLANNING inc.
石川三紘

フォトグラファー

矢部洋一/石川三紘

ライター

古屋 佳也/石川雄基

デザイン・レイアウト

株式会社オレンジ・コミュニケーションズ
栗澤洋輔/神田禎之

取材協力

- p10-15 グルメクルージング 境ガ浜
ペラピスタ スパ&マリーナ 尾道
(ペラピスタ境ガ浜)
広島県尾道市浦崎町大平木1344-2
TEL.084-987-1122
<http://www.bella-vista.jp>
- p16-21 サイトシーイングクルージング 松島
株式会社くろしお 北浜マリンベース
宮城県塩釜市北浜4-71-10
TEL.022-365-3220
<http://www.kuroshiomarine.co.jp>
- p36-39 ポート免許への挑戦!
東京ハーバーポートライセンススクール
東京都港区芝浦4-22-2
TEL.03-5730-2040
<https://www.tokyo-harbour.jp>
- p40-43 英虞湾サンセットクルージング
檜扇荘
三重県志摩市阿児町鶴方943-1
TEL.0599-43-0077
<http://www.hiogiso.com>
- p44-45 マリーナ探訪
株式会社 葉山マリーナー
神奈川県三浦郡葉山町堀内50-2
TEL.046-875-2670
<http://www.hayamamarina.com>



Rule the waves.

不快な横揺れを軽減し、上質なマリンライフを提供します。
三菱重工業アンチローリングジャイロ!!

ARG175T

世界に認められた品質

 ANTI ROLLING GYRO

■製造元  **MITSUBISHI**
HEAVY INDUSTRIES, LTD.

TOMA AWNING

<http://www.toma-awning.com/>

広大な海に浮かぶ異空間に流れ込む風が、
少しだけここで休んでまた抜けていった気がした。



TOYOTAMARINE PONAM-31



施工例

【総発売元】株式会社 丸菱製作所 愛知県春日井市大手町字川内1045
TEL:0568-31-8414 FAX:0568-31-8489

Midland Square Sky Restaurants

至福のひとときを贈る、
天空の7つのレストラン。

いつもとは、ひと味違ったランチタイム。
満天の星空と名古屋の煌びやかな夜景とともに味わう
ラグジュアリーなディナータイム。
大切な人と特別な時間を過ごすために、
ミッドランドスクエアのスカイレストランが
お手伝いさせていただきます。

41F

京都 吉兆

日本料理
京都吉兆
052-527-8888



七福

広東料理
家全七福酒家
052-527-8805



人形町今半

すき焼・しゃぶしゃぶ・
網焼ステーキ
人形町今半
052-527-8887



喜扇亭

鉄板焼 ステーキ
喜扇亭
052-561-3336



The 41st Square
Blueedge

ダイニング&バー
ブルーエッジ
052-527-8866



42F

RESTORANTE
ENCOTICA PINCHIOREI
FLORENCE NAGOYA

イタリア料理
エノテカー
ピンキオーリ
052-527-8831



L'AUBERGE DE L'ILL
NAGOYA

フランス料理
オーベルジュ・
ド・リル ナゴヤ
052-527-8880



〒450-0002
愛知県名古屋市中村区
名駅四丁目7番1号
TEL:052-527-8877

restaurants
11:00~23:00
shops
11:00~20:00

※一部営業時間の
異なる店舗があります。

MIDLAND SQUARE
<http://www.midland-square.com/>